

事業評価書

補助事業名	東富士演習場関連公共用施設（教育文化施設：裾野市民文化センター改修）整備事業					
補助事業者名	裾野市長					
実施場所	裾野市石脇583					
補助事業の成果の目標	市民文化センターは、平成3年の供用開始以来、各種公演や市民の発表会、各種イベントなどに使用され、市の中核的教育文化施設の役割を担っている。 しかし当施設は建築後約28年が経過し、各種設備の劣化等が見受けられ、舞台照明やエレベーターなど、大規模改修の必要がある。 市民文化センター改修基金事業のうち、平成30年度は会議棟エレベーターを改修することにより、施設の機能を維持・向上し、引き続き地元住民が快適に当施設を利用できることを目標とする。					
補助事業の内容	エレベーター改修					
補助事業の始期及び終期	平成27年度から令和4年度まで					
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度	30年度	計
	事業費	円 0	円 0	円 0	円 29,106,000	円 29,106,000
	基金造成額	交付金	65,250,000	65,250,000	65,250,000	65,550,000
		市町村費等				
		その他				
	計	運用益		130,500	130,650	98,542
		計	65,250,000	65,380,500	65,380,650	65,648,542
	基金処分額	0	0	0	20,000,000	20,000,000
	基金残額	65,250,000	130,630,500	196,011,150	241,659,692	241,659,692
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	利用者へのアンケート調査を実施したところ、以前に設置していたエレベーターとの比較で「大変良い」「良い」とされた方が91人中77人、乗り心地が「大変快適」「快適」とされた方が73人となり、改修の成果が見受けられた。 エレベーター内壁に事業名等を記載した名盤（プレート）を設置し、交付金事業により建設したことを関係住民及び市民に周知した。					
事業の改善措置及び今後の対応	特になし					
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					